



No.86
2025
7.8 月号

発行：松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

包括だより

浮穴小学校 認知症キッズサポーター養成講座

6月13日、浮穴小学校4年生を対象に認知症キッズサポーター養成講座を開催。講義の難しい内容にもメモを取りながら真剣に話を聞いていました。講義後は、浮穴地区の高齢クラブ、民生児童委員、松山市社会福祉協議会、松山南警察署浮穴駐在所の警察官の方々と一緒に声かけ訓練を行いました。高齢クラブの方が認知症役となり、グループに別れ、「どのように声掛けをすれば安心されるか」「どうやって声掛けをしたら認知症の方の気持ちに寄り添えるか」など、最初の声かけに緊張や戸惑いを感じながらも、声掛けする言葉を一生懸命考えていました。子どもたちだけで対応が難しい場合は、大人や警察官に助けを求める大切さも学ぶことができました。困っている方を見かけたら、今回勉強したことを思い出し、勇気をもって声掛けをしてほしいと思います。（和田）



メモを取り、たくさんの質問がありました



対応が難しい場合は、迷わず大人へ相談しましょう

地域 de 散歩～森松河川敷～

森松にある重信川河川敷の花畑を取材。花畑のお世話をされている山下さんと、森松町の丹生谷町内会長にお話をうかがいました。高齢クラブ緑会等でも代表を務められている丹生谷町内会長は、昨年11月、高齢クラブの会員らと共に、チューリップの球根を植えたり、4月には、皆でお花見を楽しまれたとのこと。「お花は1年中咲いています。近くを通った際にはぜひお花畑にお立ち寄りください」などのコメントを山下さんよりいただきました。大切に育てられていることが伝わる花畑、癒されること間違いなしです。（岩崎）



近くを通るたびに花々に癒されています

認知症サポーター養成講座 ＝石井東小学校＝

5月19日、石井東小学校4年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催。認知症について学習した後は、声かけ訓練にも取り組みました。先生に協力してもらって声かけ訓練をする中で、認知症について考えて行動することを学ぶことができましたと思います。認知症の人に限らず、困っている人に優しく声かけができるキッズサポーターが増えることを願っています。（坂本）



緊張しながらも、しっかり声かけができていました

認知症サポーター養成講座 ＝古川＝

6月1日、古川集会所で、認知症サポーター養成講座を開催。講義後、道に迷っている高齢者役を地域の人にお願ひし、当センター職員が声かけをする劇を行いました。まずは失敗例を見てもらい、参加者らがペアを組み、どのように声かけをするかロールプレイを行いました。成功例では、相手の正面から話しかける、自己紹介をする、不用意に触れないなど、様々なコツを紹介しました。これからも、地域で支え合い、認知症への意識を一緒に高めていきたいと思っています。（東）



名俳優の劇で、会場はとても盛り上がりました

ポピーサロン ＝東方町＝

5月14日、東方町の町組集会所で、ポピーサロンの参加者を対象に、介護保険制度に関する講話を行いました。今回は、介護保険の申請から要介護状態区分の認定が下りるまでの流れについて、詳しく説明させてもらいました。また、参加者からの要望もあり、実際の介護サービスの内容や施設についても、今後数回に分けてご説明する予定です。地域の方に介護保険についての理解を深めてもらい、困った時の相談窓口として地域包括支援センターのことも知ってもらえるよう、今後も様々な場所で活動していきたいと思っています。（篠原）



ポピーの花言葉には「思いやり」「感謝」等があります

古川ふれあいサロン

5月16日、古川ふれあいセンターで、古川サロンの参加者を対象に、健康講話を開催。今回は、天山病院の大西竜輔理学療法士を講師にお招きし、「筋肉だけに頼らない転倒予防」と題して講演。耳石を動かすこと、腹圧を高めることに着目した実践的な内容で、「初めて知った」「これなら雨の日でもできそう」など好評でした。（杉本）



日々身体を動かす時間を作っていきましょう

令和7年度 地域ケア・センター会議

6月13日、年1回のセンター会議を開催。石井・浮穴・久谷地区からまちづくり協議会会長、民生児童委員会、社会福祉協議会、エリア内の主任介護支援専門員、松山市長寿福祉課基幹型地域包括支援センターより出席いただき、当センターの活動報告や、今年度の事業計画を報告しました。参加者からの意見も多く、地区ごとの事例やお宝などを情報共有でき、充実した会議となりました。（高須賀）



貴重なご意見等、ありがとうございました

チームコオヨオ

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの活動としてチームコオヨオがあります。人形のコオヨオの店舗で5月16日から活動再開となり、3年目に突入です。みんなで再会を喜び、まずは体操。メインは包括職員のギター演奏に合わせて、春の歌を中心に声を出し、楽しく歌いました。これから12月まで、毎月第3金曜日に集まり認知症についての勉強や健康についての講義などを予定しています。（二宮）



ギター演奏にはアンコールがあり楽しめました



令和7年度 第1回 ケアマネ交流会

今年度も介護支援専門員同士が交流する機会として、当センター会議室で5月15日（石井東地区）、5月20日（石井西地区）、5月22日（浮穴・久谷地区）にケアマネ交流会を開催。石井・浮穴・久谷地区は介護支援専門員が多く、新規の居宅介護支援事業所も増えています。総計35名の参加があり、グループに分かれ、堅苦しさのないフリートーク形式で、日常業務の疑問点や課題、難しさを話しあってもらいました。お互いに情報交換することで、スキルアップが図れたと思います。（好光）



（石井東地区）困っていることを共有できました



（石井西地区）和気あいあいとした雰囲気でした



（浮穴・久谷地区）新任ケアマネとも交流できました

出張相談 = サニーマート森松店 =

5月29日、サニーマート森松店の正面玄関左側のスペースをお借りして出張相談を行いました。浮穴地区から石井地区へ当センターの事務所が移転したため、浮穴地区には事務所がないことから定期的に出張相談を行っています。総勢17名が血压測定などに来られたほか、身内の認知症などの相談もありました。今後も様々な場所で開催しますので気軽にご相談ください。

(大北)



定期的に健康チェックをし、夏を乗り切りましょう



令和7年度 第1回 介護サービス事業者連絡会

6月12日、フリースペースジョー・プラで、令和7年度第1回介護サービス事業者連絡会を開催しました。石井・浮穴・久谷地区のサービス事業者98人を対象に、松山市役所長寿福祉課基幹型地域包括支援センターの藤村龍定社会福祉士を講師にお招きし、高齢者虐待の対応についてご講義いただきました。2事例を通して具体的な対応方法について学ぶことができ、また、高齢者虐待の早期発見、未然に防止ができるように介護従事者として日頃から意識するポイント等も学ぶことができました。(江原)



今回の学びを今後の支援に活かしていきます



初めてフリースペースジョー・プラの会場を利用しました

編集後記



毎日蒸し暑い日々が続きますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。先日、大葉入りのきゅうりの酢の物を作りました。暑さに負けそうな時に食べると、すっきりさっぱりし、体もリセットすることができました。酢は疲労回復や血压を下げる効果があることは有名ですね。厳しい暑さが続くと食欲も落ちますが、体調を崩されないようしっかり栄養を取って元気にお過ごしください。(浅香)

松山市地域包括支援センター

石井・浮穴・久谷

松山市東石井7丁目3番32号

TEL : 089-957-0808

松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

サブセンター浮穴・久谷

松山市東方町甲1272番地1

TEL : 089-905-8889